

ノ理由ハ分リマセン依テ運動ノ事ニ能ク檢査  
セラル、ナラバ手段方法ヲ選ビマセン中出

解雇職工 村田常次郎

常ニ公平ナル警察ガ何時モ不公平ナル知悉ヲ  
取ルノデアル大島製鋼所閉鎖ニ際シ職工入場  
阻止ス本籍ニ於ケル先般ノ解散ニ當ツテハ警  
察ノ不公平ナル知悉殆ト解散ノ理由カナイ実  
ニ吾々ハ警察ガ認メリシレトイフ中止  
向ホ福島平蔵、大久保勇、山崎吉郎、弓削三  
高福某、酒井和吉、八島高ハ、意述アリタルモ  
有見ス

三

勞務甲第六六二號

大正十一年十月二十日

警視總監堀田 貞

内務大臣水野錬太郎殿  
京都、大阪、神奈川、  
兵庫、各府縣知事殿  
司法省刑事局長殿  
東京控訴院檢察長殿  
東京地方裁判所檢察正殿

株式會社大島製鋼所争議關スル件  
(第九報)

1924  
110